

2021 年第 1 四半期決算（日本語抄訳）

プレスリリース

パリ、2021 年 5 月 6 日

利益は大幅に回復

収益は 2020 年第 1 四半期比 21%増（25%増*）の 62 億ユーロとなり、全事業、特にグローバルマーケッツ、金融サービス、ファイナンス&アドバイザリーの各事業が好調

規律ある経費管理を継続し、収益の増加に伴い単一破綻処理基金への拠出金および変動費が増加したにもかかわらず、基礎営業費用は 2020 年第 1 四半期比 2.2%減⁽¹⁾となり、伸び率で収益が経費を大幅に上回る

基礎営業総利益：2020 年第 1 四半期比倍増の 21 億ユーロ⁽¹⁾

グループ基礎当期純利益：13 億ユーロ⁽¹⁾、グループ報告当期純利益：8 億 1,400 万ユーロ

利益率（ROTE）：10.1%⁽¹⁾

質の高いバランスシートおよび当グループの財務の健全性を確認

2021 年第 1 四半期のリスク費用は 21 ベーシスポイントと低く、正常債権に対する引当金も高水準で維持

2021 年通期のリスク費用は 30～35 ベーシスポイントになる見通し

2021 年 3 月末時点の普通株式等 Tier 1 比率は 13.5%⁽²⁾と、規制要件を約 450 ベーシスポイント上回る事業間の効率的な資本配分

2021 年の優先事項：顧客の支援と持続可能な成長に向けた戦略的な取り組みの実施

危機からの脱却およびエネルギー転換やデジタル技術の活用において顧客を支援

フランス国内のネットワーク統合

成長のけん引役の増強（ブルソラマでの記録的な新規顧客獲得や ALD によるバンコ・サバデルの事業買収）

持続可能な成長を目的とした、グローバルバンキング&インベスターソリューションズ部門の新規事業計画の策定

リクソーの資産運用事業の売却を目的としたアムンディとの独占的な交渉の開始を発表したことを受けた、当グループの事業再編計画の最終化

当グループの最高経営責任者であるフレデリック・ウデアは次のように述べています：

「このような素晴らしい 1 年の始まりは、特に、最近の四半期に下した決定の妥当性とその実行の成功を裏付けるものであり、当グループにとって大きな節目となります。ソシエテ・ジェネラルは、財務目標を達成したことにより、自信と決意を持って 2021 年に臨むことができます。2020 年に続き、新型コロナウイルス感染症の状況や経済面が依然として不透明な環境であるものの、ソシエテ・ジェネラルはお客さまと社会経済を支援するために力強いコミットメントを維持してきました。事業面お

⁽¹⁾ 基礎データ（会計上データから基礎データへの移行については、英文資料の 10. APPENDIX 2: METHODOLOGY の第 5 項を参照）

⁽²⁾ IFRS 第 9 号の段階的導入に係る 25 ベーシスポイントを含む

本書の脚注*はグループの編成の変更および為替レートの変動による影響の修正再表示後の数値を示す

よび財務面では、収益性が著しく好転したのに加え、前 2 四半期と同様に継続的な経費管理と優れたリスク管理が奏功し、利益と利益率は大幅に回復しました。また、当グループのバランスシートおよびローンポートフォリオの質の高さも確認することができました。その結果、今後数四半期は、まずはお客さまが危機から徐々に脱却し、活動を再開し、デジタル技術や CSR の課題にビジネスモデルを適応させることを支援すること、第二に、価値創成の強力な源である成長・イノベーション・業務効率化のための施策を効果的に実施することを優先して行っていく所存です。」

グループ連結決算

(単位：百万ユーロ)	2021 年 第 1 四半期	2020 年 第 1 四半期	増減	
銀行業務純利益	6,245	5,170	+20.8%	+25.2%*
営業費用	(4,748)	(4,678)	+1.5%	+3.7%*
基礎営業費用 ⁽¹⁾	(4,097)	(4,188)	-2.2%	+0.2%*
営業総利益	1,497	492	x 3.0	x 3.7*
基礎営業総利益 ⁽¹⁾	2,148	982	x 2.2	x 2.4*
純リスク費用	(276)	(820)	-66.3%	-65.1%*
基礎純リスク費用 ⁽¹⁾	(276)	(820)	-66.3%	-65.1%*
営業利益	1,221	(328)	n/s	n/s
基礎営業利益 ⁽¹⁾	1,872	(162)	x 11.6	x 17.5*
その他の資産からの純損益	6	80	-92.5%	-92.5%*
その他の資産からの基礎純損益 ⁽¹⁾	6	157	-96.2%	-96.2%*
持分法適用会社当期純利益	3	4	-25.0%	-25.0%*
基礎持分法適用会社当期純利益 ⁽¹⁾	3	4	-25.0%	-25.0%*
のれんの減損損失	0	0	n/s	n/s
法人所得税	(283)	46	n/s	n/s
グループ報告当期純利益	814	(326)	n/s	n/s
グループ基礎当期純利益 ⁽¹⁾	1,298	98	x 13.2	x 22.5*
ROE	5.2%	-3.6%		
ROTE	5.9%	-4.2%		
基礎 ROTE ⁽¹⁾	10.1%	-0.5%		

(1) 特別項目および IFRIC 第 21 号による影響の線形化の修正再表示後

2021 年 5 月 5 日に開催されたロレンツォ・ビーニ・スマギを議長とするソシエテ・ジェネラルの取締役会において、ソシエテ・ジェネラル・グループの 2021 年第 1 四半期決算が精査された。

基礎データから公表データへの移行に伴う様々な修正再表示については、英文資料の 10. APPENDIX 2: METHODOLOGY の第 5 項を参照のこと。

— 中略 —

連結貸借対照表

資産の部（単位：百万ユーロ）	2021 年 3 月 31 日	2020 年 12 月 31 日
現金および中央銀行預け金	177,582	168,179
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	445,009	429,458
ヘッジ目的デリバティブ	16,220	20,667
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	50,250	52,060
償却原価で測定する有価証券	16,525	15,635
償却原価で測定する銀行預け金	63,243	53,380
償却原価で測定する顧客貸出金	456,474	448,761
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	284	378
保険事業の投資	169,878	166,854
税金資産	4,900	5,001
その他の資産	67,651	67,341
売却目的保有非流動資産	675	6
持分法適用投資	103	100
有形および無形固定資産	30,367	30,088
のれん	3,821	4,044
合計	1,502,982	1,461,952

負債の部（単位：百万ユーロ）	2021 年 3 月 31 日	2020 年 12 月 31 日
中央銀行預り金	3,095	1,489
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	404,263	390,247
ヘッジ目的デリバティブ	10,762	12,461
発行債券	137,230	138,957
銀行預り金	145,530	135,571
顧客預金	467,711	456,059
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	5,655	7,696
税金負債	1,239	1,223
その他の負債	89,727	84,937
売却目的保有非流動負債	167	-
保険契約関連負債	148,334	146,126
引当金	4,743	4,775
劣後債務	16,215	15,432
負債合計	1,434,671	1,394,973
株主資本		
株主資本、グループ持分		
発行済普通株式および資本準備金	22,371	22,333
その他資本性金融商品	9,295	9,295
利益剰余金	31,646	32,076
純利益	814	(258)
小計	64,126	63,446
未実現・繰延キャピタル損益	(1,206)	(1,762)
資本、グループ持分小計	62,920	61,684
非支配持分	5,391	5,295
株主資本合計	68,311	66,979
合計	1,502,982	1,461,952

— 中略 —

ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルはユーロ圏最大級の金融サービスグループで、多角的かつ総合的なバンキングモデルを採用しています。強固な財務基盤を維持し、イノベーションにおける専門性で高い実績を有しています。持続可能な成長を目標とする経営戦略を実行しており、お客さまから信頼されるパートナーとなり、地域社会と経済に有益な変化をもたらすことを目指しています。

ソシエテ・ジェネラルは、確固たる地位を築いている欧州を拠点に世界に広がるネットワークを通じて 150 年以上にわたり世界経済において重要な役割を果たしています。世界 61 カ国の拠点に 13 万 3,000 人を超える従業員を擁し、3,000 万の個人、法人、機関投資家のお客さまに様々なアドバイザリー・サービスと顧客ニーズに合わせた金融ソリューションを提供しています。

当グループは、以下 3 つの主力業務部門から構成されています。

- ・ **フランス国内リテールバンキング部門**：ソシエテ・ジェネラルの支店網とクレディ・デュノール、ブルソラマのブランド名で、最先端のデジタル技術を駆使した総合的な金融サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。
- ・ **国際リテールバンキング & 金融サービス部門**：新興国および専門性の高い主要金融ビジネスにおいて主導的地位を築いています。
- ・ **グローバルバンキング & インベスターソリューションズ部門**：定評ある高い専門性、統合型ソリューションを主要な市場で提供しています。

ソシエテ・ジェネラルは、社会的責任投資指数の代表格であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（世界および欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、Euronext Vigeo（世界、欧州、ユーロ圏）、4 つの STOXX ESG リーダーズ指数、MSCI 低炭素リーダーズ指数の構成銘柄です。

詳しくは当グループのウェブサイト www.societegenerale.com またはツイッター [@societegenerale](https://twitter.com/societegenerale) をご覧ください。